

# 家族が集うテーブル

最高級の無垢板を贅沢に使った「三角いろり大テーブル」。ここには家族が集まり共に過ごす温もりとやすらぎの空間が生まれる。まもなく開催される「創作いろり展」では、見て触れてその素晴らしさを実感できる。

Text Eli Takahashi



三角いろり大テーブル 参考価格2,500,000円

## 「創作いろり」展のお知らせ

11月30日(土)～12月23日(月)  
11:00～17:00(祝日をのぞく月・火定休)が、  
九つ井「山の上ギャラリー」(横浜市戸塚区小  
雀町644-2 TEL045-852-8855)にて開催さ  
れます。三角いろり大テーブルを中心に、馬  
場さんによる創作いろりを紹介します。

上質な木の持ち味を誇る優れた家具は数あれど、この無垢板のぬくもりと質感、独創的なデザインは、一瞬誰もが目を見張り、見とれてしまう。その空間には、唯一無二の自然の存在感がゆるやかに広がる。

そしてこのテーブルについてとき、何とも言えず優しいやすらぎに包まれ、心からホッとなごむ自分がある。細やかに木目の流れるテーブルの表面を、指の先でそっと撫でてみる。暖かいような柔らかいような、この心地よさは一体何だろうか。木の放つ目に見えぬ力に癒されるのを感じる。その力は、かつて森の中にそびえていたときからきつと変わらないままなのだろう。

この「三角いろり大テーブル」をみずから考案し製作するのが、木工作家の馬場健二さんである。実用性や機能性だけを求めた家具とちがひ、深く人間の五感に訴えるものがある。さらにオブジェとしての遊びの要素も加わり、このテーブルは生まれた。

中央に囲炉裏を配し、三辺の長い、ほぼ三角の形をしたこのテーブルを馬場さんは「集いのテーブル」と表現した。家族が集まり、それぞれに思い思いのことをしながらも、長い時間を一緒に過ごす。例えば夕食のあとでお父さんは晩酌、その隣りでお母さんは編み物を、子供たちは本を読んだり宿題をしたりと、居心地がいいのでみんながずっとそこにいる。そんな雰囲気が自然に生まれるテーブルなのだ。

大きさは代表的なサイズで長さ二五〇〇cm、幅二一〇〇cm、高さ六八〇cm。たっぷりとしたそのスペースは互いの作業を干渉することなく、かつみんなが共にいる安心の場となる。そして四角いテ-

ブルに真向かいで正対するよりも、少しだけ斜めに向き合うことで心理的にもリラックスできる。長いテーブルでは話題が分かれてしまうが、三角形ならば話題もひとつになろう。偶然にできたこの三角形のテーブルが、人が集うのに最適な形であることがわかった。

赤い囲炉裏の火も、静かに心を癒してくれる。無垢材の中央に鉄という異素材の組み合わせも魅力的で、シャープな印象をもたらしている。鉄瓶などを掛けるための自在鉤は取りはずしと上下の移動が可能で、火を使わないときには囲炉裏に蓋をしてフラットな面にできる。蓋には鉄のほか竹などバリエーションがあり、この上にグリーンを飾ったり陶器を置いたりすれば、またもやみごとにテーブルの雰囲気を変えてくれる。

このテーブルを作るのにふさわしい木材を厳選するのに、馬場さんみずから日本全国を歩きまわる。素材は樹齢三〇〇年から五〇〇年にもなるトチ、セン、サクラ、ケヤキ、マツなど。木の違いで、色味など風合いに個性が出る。同じ種類でも産地によって木味が違う。そうして選ばれた素材は馬場さんの元で何年も寝かせられ乾燥されて、最後の完成までこの人の手によって仕上げられるのである。

この「三角いろりテーブル」の数々を展示する「創作いろり展」が横浜、戸塚区の「山の上ギャラリー」で来月末より、約一ヶ月間開催される。当日は馬場さん本人に詳しい質問や相談をすることももちろん、サイズや素材などのオーダーメイドも可能だ。今すぐの購入予定はなくても、将来の新居やリフォーム計画に備えて訪ねてみるのもいい。この機会にぜひ、秀逸な作品の素晴らしさに触れてみてはいかがだろうか。